

2015 年度 環境活動レポート

(2015 年 2 月 1 日～2016 年 1 月 31 日)



発行日：2016 年 3 月 31 日



〒990-2226 山形市西越 25 番地
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
<http://www.isono-body.co.jp>



認証・登録番号 0007795

環境方針

■ 環境経営理念

私たち、いそのボデーは「トラックボデーの製作」を通じ、トラック物流サービスの一翼を担っています。日本においては、地球温暖化の主原因とされる二酸化炭素排出量の約2割が運輸部門から排出されており、産業部門に次いで多くなっています。

私たちは、全人類が直面している地球環境問題を私たち自身の問題と認識し、長年培ってきた技術力をもって、環境面においても高機能・高付加価値のトラックボデーを提案し、温暖化防止に寄与していきたいと考えています。

私たちがつくった「環境にやさしいトラックボデー」が日本中を駆け巡ることを夢みながら、“情熱”をもって、エコアクション21環境経営システムに取り組んでいきます。

■ 環境行動指針

1. ムダな電力、化石燃料、水の使用をなくし、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 原材料をムダにせず、廃棄物は分別の徹底により可能な限り、リサイクルに回します。
3. 化学物質の適正管理とグリーン購入を推進していきます。
4. 環境関連の法律等を守り、地域の環境保全活動に協力していきます。
5. 私たちが提供する製品やサービスが与える環境負荷の削減のため、研究開発ならびに技術の研鑽に取り組めます。

2011年3月1日

株式会社 いそのボデー

代表取締役社長 磯野 栄 治

2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者氏名

- 株式会社 いそのボデー
- 代表取締役社長 磯 野 栄 治



2-2. 所在地

- 本社・工場 : 〒990-2226 山形市西越 25 番地

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者: 設計開発部長 石 井 崇
- 連絡担当者 : 総務部長 本 間 久 美
- 連絡先: TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
- Email: kumi.h@isono-body@co.jp



2-4. 設立年月日

- 1964年(昭和 39 年)2月

2-5. 資本金

- 3, 630万円

2-6. 事業活動の内容(認証・登録範囲)

- トラックボデーの製作
- 車検代行
- 自動車整備
- 自動車保険代行



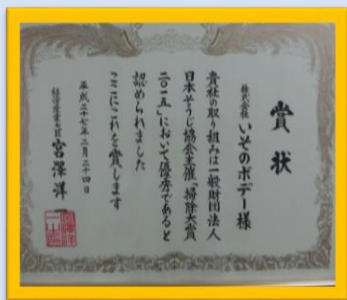
2-7. 事業の規模

事業年度 事業規模の指標	2013 年 (2013.2~2014.1)	2014 年 (2014.2~2015.1)	2015 年 (2015.2~2016.1)
売上高(百万円)	1,454	1,530	1,714
従業員数(人)	86	90	95
整備車両台数(台)	4, 918	4,794	3, 989
注)売上高、整備車両台数の実績は、当社会計年度(当月2月~翌年1月まで)による			

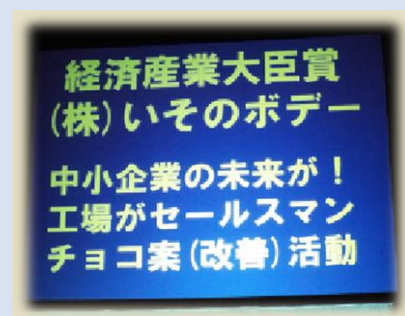
2-8. 2015 年度の近況報告

★ 日本掃除大賞 2015 において「経済産業大臣賞受賞」を受賞！

「工場のショールーム化」を目指し全社員で取り組んでいる整理・整頓・清掃の 3S活動が評価され、日本そうじ協会主催の「日本掃除大賞 2015」で「経済産業大臣賞」を受賞することが出来ました。また、掃除を通してゴミの分別、ゴミを出さない工夫等による産業廃棄物の削減など環境面においても大いに貢献をしております。



【経済大臣賞の表彰状】



【工場が最高のセールスマン】

◆ 弊社の3S活動

※整理【要らないものは捨てる！】



※整頓【形跡整頓:使ったら元に戻す習慣！】



・この工具で一つの工程が完成！

※清掃【すみっこ清掃】



・キャスターが付いているのでらくらく移動



・掃除用具に番号をふり同じ番号に戻す工夫

◆ チョコ案活動

2012 年 1 月チョコ案活動の導入。チョコ案とは？「チョコと餃子でできたような非常にあまーい改善提案」のことを言います。毎月一人 1 件以上提出を目標に取り組みましたが、当初はなかなか全員提出には至りませんでした。社員の意識の向上により 2014 年 5 月から社員提出率 100%を達成することが出来、現在も 100%達成を継続中です。

+++++チョコ案の一例+++++

作動油を入れる保管具ですが、作動油にゴミ等が混入したら車両が大変危険な事になってしまいます。そこでカバーを作りゴミが入らないようにしました。

ちょっとした工夫で安全の確保、作業効率 UP また環境面においてもムダを出さないというチョコ案になります。

チョコ案 こんな改善できました						総務部長 15.7.27 本間	常務 15.7.24 森谷	所屬長 15.7.24 渡辺
部署	メンテナンス		氏名	高橋和良		日時	27年 7月 24日	
分類	治具	作業効率	表示	美化	安全	経費削減	その他	
改善前	カバー無の為ゴミが混入				改善後	カバーを工作しゴミが混入しないようにした。		
								

●チョコ案の取組において、年度末には年間の「最多提出件数賞」や優れたチョコ案には「社長賞」として表彰されています。



こちらが

個人毎のチョコ案の件数を表すグラフです。

天井までも伸びています。弊社

の名物です・・・

このような取り組みの中、環境面のチョコ案も多数提案されています。
次年度は「エコで賞」を設け表彰することになりました。

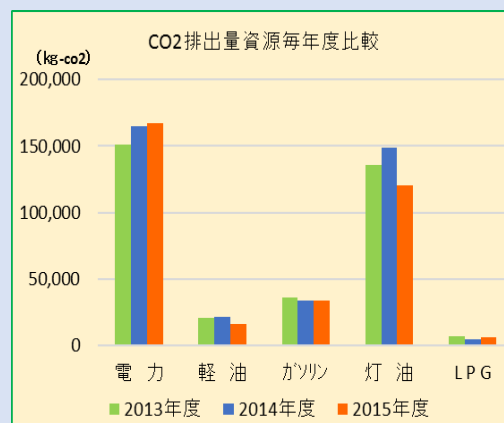
3. 環境目標とその実績

3-1. 環境負荷の現状と推移(環境負荷自己チェック結果より)

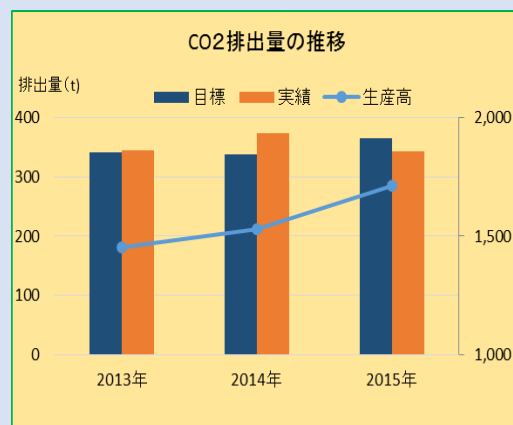
■ 二酸化炭素排出量

資源毎 CO2 排出量年度比較

エネルギー資源	2013 年度	2014 年度	2015 年度
電 力	151,411	164,859	167,519
軽 油	21,142	21,548	15,874
ガソリン	36,072	33,613	33,625
灯 油	135,557	148,591	120,492
L P G	7,039	4,539	5,837
co2 排出量計	351,221	373,150	343,347



- 1) 当社における 2015 年度の二酸化炭素排出量は合計 **343t** となっており一般家庭(年間 5.0tJCCCA: 全国地域温暖化防止活動推進センター)の 69 軒分の排出量に相当していました。しかし、2013 年度(基準年度)と比較すると 8t 減少しました。一般家庭でいうと 1.6 軒分の減少となります。
- 2) 2015 年度に排出される二酸化炭素の 52% は化石燃料の使用に伴うもので、その中でも灯油が 120t で全体の 35% を占めており昨年より 18.9% 減少しました。
- 3) 灯油は、冬場の車体塗装作業時において、塗料の乾燥用に使用するほか工場や事務所の暖房用にも使用していますが、今年は暖冬で灯油の使用量が減少したものと考えられます。また、灯油の単価も安くなったことから前年比で年間約 240 万円の経費削減となりました。
- 4) 灯油以外の化石燃料では軽油 15t、ガソリン 33t となっていました。積雪が少ないことで除雪車に使用する軽油の使用量が減少しました。またガソリンは昨年同等の数値になっています。
- 5) 電力の消費による二酸化炭素排出量は、167t で 48.8% の割合になっています。そのほとんどが工場の設備(コンプレッサー、プレス、クレーン等)の稼働によるもので、これは生産高に関係するものと考えられます。



※電力の二酸化炭素換算係数は、平成 20 年東北電力の数値(0.469)を使用しました。

■ 産業廃棄物排出量

一般廃棄物は紙類(廃コピー用紙、段ボール類)がほとんどで、すべて再生利用されています。有価物である鉄くず、アルミくずを除いた産業廃棄物では、廃プラが最も多く51t、次いで木くずが10t、廃油が7tとなっています。廃プラは焼却処理または埋立処分、廃油、廃シンナーは焼却処分されています。再生利用しているのは、木くず、有価物(鉄くず、アルミくず)などで、リサイクル率は67%となっています。

■ 総排水量(水使用量)

年間の水使用量は1,562 m³で、生活用水の他、洗車、高圧シャワー試験などで水を使用しています。



■ 化学物質使用量(購入量)

シンナー及び塗料の中に含まれるPRTR対象物質について、その購入量と含有率からトルエンならびにキシレンの購入量を集計しまして。最も多いのはトルエンで2,336 kgキシレンは1,136 kgとなっています。塗装作業で使用されることから排出先は大気となっています。



3-2 環境目標項目の選定と目標設定の考え方

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、並びに環境方針との整合性を図り、次の7項目(山形エコアクション21対応項目を含む)について、環境目標(単年度目標&5年間の中期目標)を設定しました

環境目標項目		単年度目標	中期目標
		2015年度目標 (2015.2※1～2016.1)	2013年度～2018年度(5年間)
二酸化炭素排出量		2014年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す。
廃棄物 排出量	一般廃棄物	2014年度比2%削減	2018年度までに一般廃棄物量を2013年度実績の10%削減を目指す
	産業廃棄物	2014年度比2%削減 リサイクル率65%以上とする	2018年度までに産業廃棄物量を2013年度実績の10%削減とする。またリサイクル率を80%以上とする
総排水量 (水使用量)		2014年度比1%の削減	2018年度までに2013年度実績の5%の削減とする
化学物質使用量 (PRTR対象物質)		2014年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す
グリーン購入推進		2014年度比2%UP以上とする	2018年度までに2013年度実績値の10%UPを目指す。
製品・サービスの環境負荷 削減に関する目標		iSkip車の軽量化	iSkip車の軽量化を2018年までに2014年度実績値の5%削減を目指す
		不良率2014年度比 10%削減	2018年度までに市場不良率を2013年度実績値の50%削減を目指す
山形エコアクション21 対応目標		美しい山形・最上川フォーラムの事業活動を積極的に支援していく	
		年2回(5月・10月)会社周辺の清掃活動を実施する	

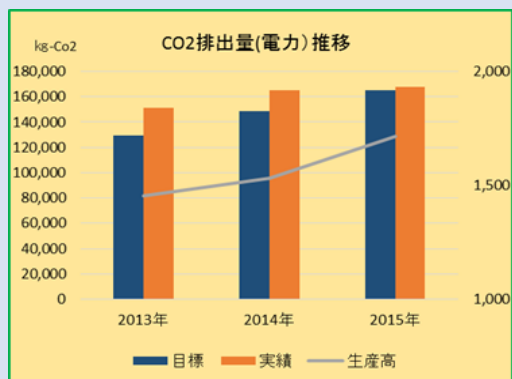
3-3.環境目標達成状況

(取組結果のマイナスは増加を示します)

◆ 二酸化炭素排出量（電力使用）

(単位 kg-Co2)

2014 年度	2015 年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
164,859	161,561	167,519	-1.6%	×



【目標】2014 年度比 2%削減

●取組の評価

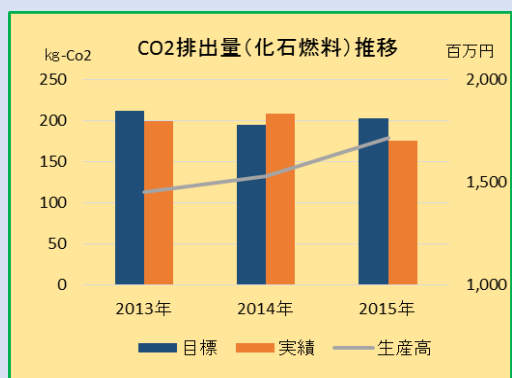
二酸化炭素排出量(電力使用)は年々増え続けております。昨年と比較すると生産高は 12%増加、電力使用の二酸化炭素排出量は 1.6%増加となり未達となりました。

2015 年度は 3S 活動において探すムダや歩くムダを省くことに重点を置いたことや、残業時間の削減を強化した結果 1.6%増加で留まったと考えています。

◆ 二酸化炭素排出量（化石燃料）

(単位 kg-Co2)

2014 年度	2015 年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
208	203	175	15.8%	○



【目標】2014 年度比 2%削減

●取組の評価

二酸化炭素排出量(化石燃料)は昨年対比 15.8%削減となり目標達成できました。暖冬により灯油及び除雪車の軽油の使用減少により削減できたものと思われます。

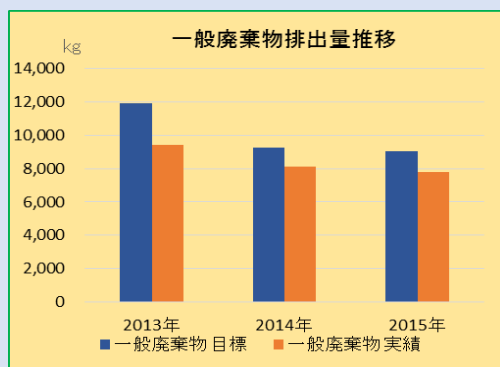


◆ 廃棄物排出量（一般廃棄物）

【目標】2014 年度比 2%削減

（単位 kg）

2014 年度	2015 年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
8,100	9,046	7,810	3.5%	○



●取組の評価

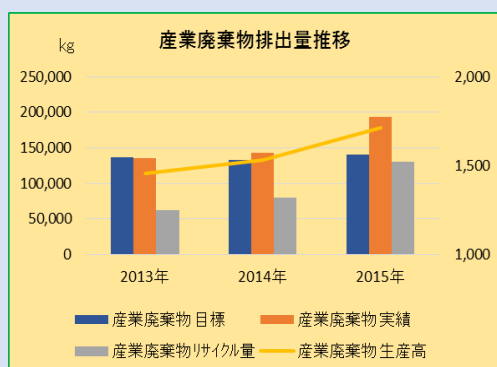
2015 年度は目標を 1236 kg削減し達成することができました。一般廃棄物排出量は主に梱包用の段ボールになります。また事務所で使用するコピー用紙等の裏紙使用や不要な紙類は専用の箱を設け分別し 100%リサイクルに回しています。



■ 廃棄物排出量（産業廃棄物）

（単位 kg）

2014 年度	2015 年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
143,229	140,168	193,818	-35%	×



【目標】2014 年度比 2%削減

リサイクル率 65%以上

●取組の評価

2015 年度は目標を 50,589 kg増加となり35%増加となり未達となりました。これは生産高も増加したことによるものと思われます。一方ではリサイクル率は 67%と目標を達成することができました。産廃の種類も多く昨年までは各人の認識不足ということもあり、リサイクル率を上げることが困難でした。そこで産廃の分別を全社員に教育してもらい再確認と徹底により今年度は削減できたものと思われます。

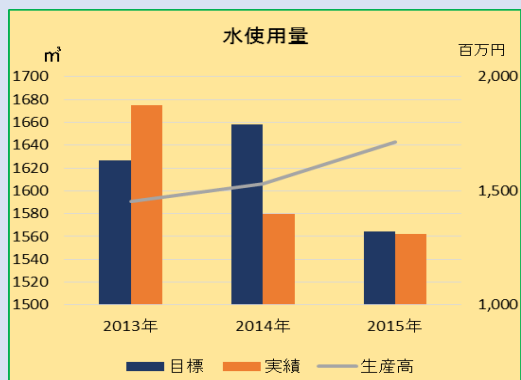


産業廃棄物	リサイクル率
2013 年	46%
2014 年	55%
2015 年	67%

■ 水使用量

(単位 m³)

2014 年度	2015 年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
1580	1564	1562	7.4%	○



【目標】 2014 年度比 1%削減

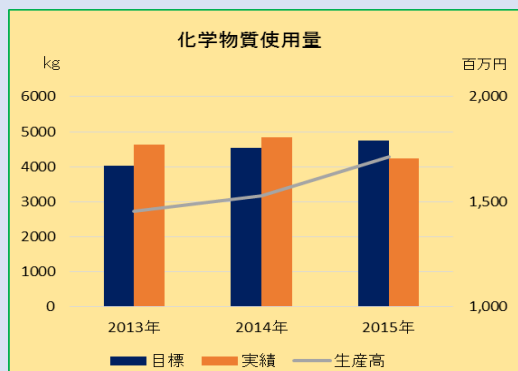
●取組の評価

2015 年度は前年対比で 7.4%削減でき目標は達成しました。昨年より生産高は増加した割に使用量は良い結果となりました。水は主に生活用水と洗車または弊社で製造したトラックボデーに水漏れがないかをチェックする「シャワーテスト機」に使用します。シャワーテスト機はエア混合比率を高め、水の使用量を抑えるという社員チョコ案を採用しました。

■ 化学物質使用量

(単位 kg)

2014 年度	2015 年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
4,848	4,751	4,241	12.5%	○



【目標】 2014 年度比 2%削減

●取組の評価

2015 年度は前年より 607 kg減少で 12.5%削減でき目標達成しました。(この数値は購入量となります)生産高は増加でとっていますが、在庫量を見直した結果によるものと考えられます。

車体塗装時使用する脱脂用シンナーはほとんどエコシンナーを使用していますが、塗料は品質等の問題により、なかなか水性塗料化は出来ないのが現実です。また、「工場のショールーム化」ということで社員が床や柱、機械などを色分けし塗装することも多々あります。

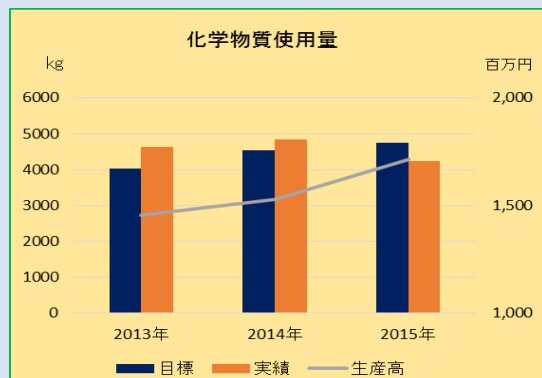
😊 車体塗装の他に治具や棚、床のペイントにも使用しています！(3S 活動の一環で全社統一色)



■ グリーン購入

(単位 %)

2014 年度	2015 年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
39.3%	41.3%	50.9%	29%	



【目標】 2014 年度比 2%以上 UP

●取組の評価

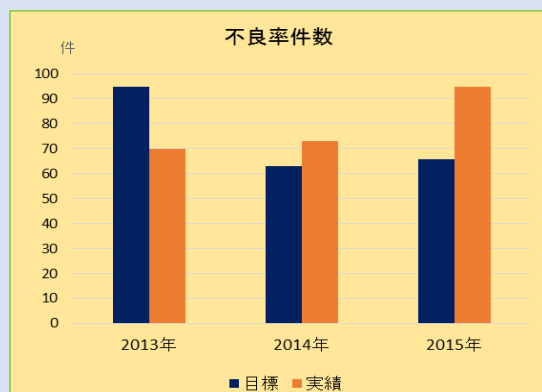
2015 年度の実績は目標に対して 29%UP の 50.9% のグリーン購入率となり目標を達成することが出来ました。事務用品を対象とした購入率(金額ベース)ですが、在庫を最小限にすることとグリーン推奨品を選定してこれからも継続して取り組んでいきます。



■ 不良率

(単位 件)

2014 年度	2015 年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
72	64	95	-31%	



【目標】 2014 年度比 10%削減

●取組の評価

2014 年度より 23 件増加してしまい 31%増加となり目標は未達でした。この実績の原因を分析し同じ不良が起きないように取組みます。まずは工場の各人の工具箱の形跡整頓から始め不具合のないよう心がけています。



■ 地域の環境保全(山形エコアクション 21 対応項目)

【目標】年2回(5月、10月)会社周辺の清掃活動を実施

平成 27 年 5 月と 10 月に会社前の国道 13 号線から山形自動車道の側道付近のゴミ拾いを述べ人数 170 人が参加しました。年々拾うゴミの量は減ってきておりますが、吸い殻等が無残にも散らかっています。一斉ゴミ拾いで今年もキレイにしました。来年も実施する予定です。



4. 環境活動計画と取組結果並びに次年度取組内容

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	取組の評価と次年度	
			評価	次年度
二酸化炭素排出量の削減	■化石燃料の使用			
	1) 灯油	* 暖房用:冬期間、事務所の室温を20℃を目安に管理する。	○	継続
		* 塗装工場:ジェットヒーターのスイッチをこまめにON/OFF	○	継続
	2) 軽油・ガソリン	* 車両日報を準備し、車両ごとの燃費や整備状況を管理する。	○	継続
		* エコドライブ研修会を実施する。	○	継続
	■電力使用			
	1) 工場での使用	* コンプレッサー:毎月1回、エア漏れをチェックする。	○	継続
		* 照明器具:休憩時、無人の場合など、照明を消す	○	継続
		* 電気使用機器全般:効率的な使用、こまめなON/OFF	○	新規取組
	2) 事務所での使用	* 事務所の室温を暖房時20℃、冷房時28℃を目安に管理する。	○	継続
廃棄物の排出量の削減と適正管理	■廃棄物の排出			
	1) 一般廃棄物	* 分別のルールを決め、そのルールを守る	○	継続
	可燃ゴミ・段ボール類	* 自販機から出たカンやペットボトルは、専用の回収容器に入れる	○	継続
	カン・ペットボトル	* 不要なカタログ、資料はなるべく持ち込まない。	○	継続
		* マイ水筒運動の展開	○	継続
		* 塗装工程の紙貼りの紙を削減するために工程内で作業順を考える	○	継続
	2) 産業廃棄物	* 処理業者の選定の見直し(リサイクル可能な業者の選定)	○	継続
	廃プラ・金属くず・廃油	* 廃棄物の種類ごとに可能な限り、分別を徹底する。	○	継続
		* マニフェスト管理を徹底する。	○	継続
		* 産業廃棄物保管場所の5S管理の徹底。	△	継続
水の削減	■水道の使用	* 手洗器水栓の吐量の適正化	○	継続
		* 洗車時の節水協力要請	○	継続
化学物質	■化学物質の使用	* エコ塗料への転換推進	○	新規取組
グリーン購入	■事務用品の購入	* 事務用品の発注時は、エコ商品を優先的に購入する。	○	継続
製品・サービス関連	■iSkip車の軽量化	* iSkip車の前年比1%軽量化する	取組中	取組中
	■市場不良率の削減	* 前年比10%削減	△	継続
山形EA21	■地域の環境保全	* 会社周辺の清掃活動	○	継続

☆評価のまとめ

2015年度は新人を対象としたエコドライブ研修会やゴミの分別に対する社内教育等も行われました。環境負荷に対する社員の意識も向上したものと考えられます。次年度は3Sチョコ案委員会と連携した改善活動を活発化して参ります。

☆次年度以降の取組の概要

取組の基本的な項目は2016年度以降も継続していきます。また、製品サービス関連項目では全社で取組んでいるチョコ案件数などを目標とし環境改善に努めます。活動内容は良い評価となっていますが、生産量にも関係している電気使用ですがLEDの導入なども検討していきます。

4-1 2015 年度取組状況

●環境教育訓練記録 (エコドライブ研修会) 平成 27 年 10 月 3 日

平成 27 年 10 月 3 日 NPO 法人山形県自動車公益センター様よりご指導いただき、新入社員を対象にエコドライブ研修会を開催しました。



内 容: ①それぞれ自分なりに運転してみる ②資料等でエコドライブの勉強
③再度運転し、①の燃費を比較する

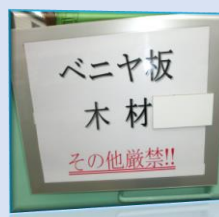
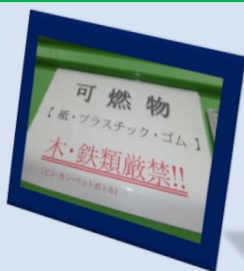
結 果: ほとんどの方が燃費向上。エコドライブを習得しました。来年も実施する予定です。

●産業廃棄物の分別について社内教育

平成 27 年 10 月 29 日

内 容: 分別のルールを守らない人がいるので全社員に再認識してもらいました。

結 果: 各コンテナに入れて良いモノを表示することによりルールを明確にしました。教育と表示すること(チョコ案)によりさらに分別しやすくなりました。



チョコ案: コンテナに入れて良いモノを表示しました

社内教育: 分別の仕方を全社員に指導しました

チョコ案 こんな改善できました	
部署	メンテナンス
氏名	富士・井上浩・藤地
日時	平成27年 10月 10日
分類	出典 作業改善 改善 廃棄 廃棄削減 その他
改善前	新しくコンテナを設置。
改善後	何用なのかを表示した。
写真	



● 緊急事態発生への訓練記録（火災発生） 平成 27 年 11 月 4 日

内 容： 全社員に対し、内製塗装工場より火災発生を想定し、早期避難、初期消火活動を訓練しました。

結 果： 各係の避難誘導及び人員の点呼等や消火器の使用方法を確認し緊急事態に備えました。

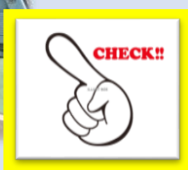


◆ 緊急事態発生への取組

平成 27 年 11 月 25 日

内容： 受付車両等からのオイル洩れがないか受付時に確認する

結果： オイル洩れがあった場合は吸着マットを使用して敷地内にオイルが広がらないように吸着マットを使用し対応する



◆ 全社対応 使用済ウエス（シンナー使用後等）の回収場所設置



シンナー等が染み込んだウエスを放置しておくと、火災が発生する恐れがあるので、使用済ウエス置き場を設置し回収しております。業者さんから処分してもらっております。

5.環境関連法規等の遵守状況、苦情訴訟等の有無

5-1.該当する環境関連法規等とその遵守状況

当社では、下記の環境関連法規等が適用されますが、2015年2月1日付でその遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

■廃棄物処理法 ■自動車リサイクル法 ■フロン回収破壊法 ■家電リサイクル法
■大気汚染防止法(VOC関係) ■悪臭防止法 ■PRTR法
■水質汚濁防止法(油水分離槽) ■浄化槽法
■騒音規制法・振動規制法(山形県生活環境の保全等に関する条例)
■消防法ならびに山形市火災予防条例 ■高圧ガス保安法 ■労働安全衛生法(有機則)

5-2. 苦情・訴訟の有無

環境面での訴訟は、創業以来、ありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

6. 代表者による見直しの結果

2011年2月のキックオフから4年目の取組となりました。同年3月の東日本大震災の電力不足による取組から始まりました。震災後しばらくしてからは業務量が増え、主に工場で使用する電力とそれに伴う残業時間の増加により、電力使用によるCO2削減目標はなかなか達成することができませんでした。そこで今年度は残業時間の削減を強化した結果、残業時間は昨年比の83%と減少したもののそれでも電力使用量は増加傾向でした。工場動力の削減は困難なこともあり次年度は工場の水銀灯をLEDにすることを検討していきたいと考えております。

また、2015年2月に日本そうじ協会主催の「そうじ大賞2015」において東北初の「経済産業大臣賞」を受賞し、県内外からも多くの方々が工場見学にいらっしゃいました。「工場は最高のセールスマン」をモットーに3S委員会を中心とした活動は社員個々の力を集結し全社を挙げて取り組む姿勢がみられました。それを継続していくことが重要であります。

環境負荷への取組も全社員への周知徹底と環境面でのチョコ案の募集を強化し、その中でも優れたチョコ案には「エコで賞」の賞も企画します。

次期も内部への環境教育を重点的に進め社員の意識の向上に努め、材料発注から製品の完成まで環境負荷に対してもムダの出ない取組を継続していきたいと考えております。

また、環境方針については3Sチョコ案活動などを盛り込みながら見直しを検討します。



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。

また、エコアクション21中央事務局のHP
(<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒990-2226 山形市西越25番地
株式会社 いそのボデー
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681